

## 日本赤軍・「よど号」グループ

### 日本赤軍

日本赤軍は、平成12年に最高幹部の**重信房子**（22年8月、懲役20年が確定）が逮捕された後、13年4月、同人による獄中からの日本赤軍「解散」宣言を受け、5月には、組織としても「解散」の決定を表明しましたが、その後も**ムーブメント連帯**という名称で活動を継続しています。レバノンに亡命中の**岡本公三**を含む7人の構成員が依然として逃亡中であり、武装闘争路線を放棄していないことから、その危険性に変わりはありません。

警察では、今後とも、逃亡中の構成員の早期発見・逮捕に向け、関係機関と連携し情報収集を強化します。



### 「よど号」グループ

昭和45年3月、<sup>たかまろ</sup>**田宮高磨**（故人）ら9人が、東京発福岡行き日本航空351便、通称「よど号」をハイジャックし、北朝鮮に入国しました。この「よど号」犯人9人のうち、現在北朝鮮に残留しているのは、**小西隆裕**ら5人とみられています（うち岡本武については死亡説もありますが、真偽は不明です。）。

また、「よど号」グループが**日本人拉致**に深く関与していたことが明らかとなっています。警察は、**魚本**（旧姓・安部）**公博**ほか2人について、それぞれ結婚目的誘拐容疑で逮捕状を取得し、国際手配を行っています。「よど号」グループは、政府に対し、拉致容疑事案の被疑者としての引渡し要求を撤回するとともに、帰国をめぐる話合いに応じるよう要求しています。

